



自学自習の力を



いよいよ子どもたちが楽しみにしている夏休みが始まります。学校という決まった時間割から離れ、家庭や地域で過ごすこの長期休業は、子どもたちが自ら時間をコントロールし、「自学自習の力（自分で学びを進める力）」を育てる絶好のチャンスです。

これからの時代を生きる子どもたちには、与えられた課題をこなすだけでなく、「自分で課題を見付け、主体的に解決していく力」が求められています。夏休みの学習は、まさにその実践の場です。まずは「午前中の決まった時間に机に向かう」といった、持続可能な生活ルーティンを親子で話し合ってみてください。そして、学校からの宿題を終えた後は、「自学ノート」にもぜひ挑戦してほしいと思います。自分の興味のあることや、1学期に苦手だと感じた教科を自分で選び、計画を立てて取り組む。この「自分で問いを立て、調べる」という経験こそが、知的好奇心を刺激し、本当の学びの楽しさへとつながっていきます。

一方で、まとまった自由時間が増える分、スマートフォンやタブレット、ゲームなどの「メディアとの付き合い方」は大きな課題となります。これらを生活から完全に排除することは難しい現代だからこそ、大切なのは禁止することではなく、自分の意志で上手にコントロールする「自律の力」を養うことです。ぜひ、この機会に「我が家のメディア利用ルール」を親子で再確認してみてください。その際、大人がルールを一方的に押し付けるのではなく、「リビングで使う」「1日〇分まで」といった内容を、子ども自身に考えさせ、納得した上で決めることがポイントです。自分で決めた約束を守れたという成功体験が、これからの自己管理能力を大きく引き上げます。

ご家庭での温かい見守りとサポートをよろしくお願いいたします。実り多き有意義な夏休みとなりますよう、職員一同願っております。

教務主任 秋山 賢

すもう総体



6月8日（月）に

松山市すもう総体が行われました



練習では、主将として大きな声でみんなと活動することができました。大会当日は、本当に自分が勝てるかなと不安な気持ちでいっぱいだったけれど、おいしいお弁当を食べたので元気が出ました。本番では、1回戦に勝つと緊張がほどけて、2回戦も気持ちを強くもって勝つことができました。3回戦では、惜しくも負けてしまいましたが、2回も勝てたので良かったです。



人権参観日



「かぼちゃのつる」では、わがままはだめだと分かりました。ごうくんは、すごいと思いました。

エレベーターのかがみで後ろが見えると分かりました。道を教えてくれるもうどう犬はすごい。

障がいとは、人にあるのではなくて、町の中にあるものだということが分かりました。

「エレベーターを設置することで障がいがなくなる。」という井谷さんの言葉を聞いて、周りが変われば今まで障がいであったものが障がいではなくなることに気付きました。だれもが安全に過ごせる町にすることが大切だと思いました。

障害は社会にあるのだと知りました。最初から誰でも使いやすいようにするべきだと思いました。また、障害のある人に対して「かわいそう」と思わず相手の気持ちを考えるべきだと思いました。これから、社会にはどのような工夫があるのかを日頃の生活から探してみたいです。

「あなたならどうする？」では、いろいろな意見が出て、すぐに決まらなかったり、解決しなかったりしました。現実になりそうな場面なので、しっかりと学ぼうと思いました。班ごとに前へ出てロールプレイをしたのが面白かったです。それぞれの解決策があり、とても勉強になりました。

うたのひろば



みんなが手拍子をしてくれたので勇気が出て、上手に歌えました。高学年の歌はハーモニーがきれいでびっくりしました。4年生でもきれいなハーモニーで歌たいです。

ぼくは、ななゆめくんの「あいさつん」役で、みんなが汽車に乗って「うたひろフェスティバル」に行くというストーリーで集会を進行しました。本番までに何度も練習をして少し大変でしたが、みんなが楽しんでいる様子を見て、ぼくもうれしくなりました。次の集会も楽しみです。

